

日田木青会だより

2025
令和6年度
3月号

1月15日(水)
原木協賛市

1月15日、日田木材協同組合原本市場にて、本年度3回目となる「大分県木材青壮年連合会原木協賛市」が開催されました。

開会式では、日田木材協同組合の瀬戸理事長、大分県議会の井上議員、日田素材買方組合の横尾理事長、大分県木材青壮年連合会の坂本会長よりご挨拶を頂き、初市が始まりました。

今回も、竹田木青会の阿南忍製材所様、堀木材様のご協力のもと、多くの原木を出荷していただき、市場は大いに賑わいました。特に優良材については、木青会員の声かけによって市場価格を上回る高値で取引が成立し、大変ありがたく思っております。また、皆様にご購入いただいた金額の一部は、今後の木材産業を担う大分県木青会の活動資金として活用させていただきます。

昨年は木材業界にとって厳しい状況が続きましたが、本年は大きな変化が訪れることを期待しております。大分県木青会として、引き続き木材の普及活動に尽力してまいります。

記事/坂本 国亮



会長ご挨拶



一年を振り返って

令和6年度会長を務めさせて頂きました、(株)権藤製材所の権藤敏裕です。

会長職など、中々自分の中では苦手な役でしたが皆様のご協力もあり無事に一年間終えることができました。

この一年を振り返ってみると研修旅行で長野大会に行ったことや例年どおりですが、木工教室奉仕活動など活動をしてまいりました。

特に木青会の良いところは、こうした色々な行事に参加することで木材業界のさまざまな人と関われる点だなと感じました。

関わることで今の状況、そして小さな苦労から大きな苦労、工夫、商売、悩み、業界人だからこその分ち合える思い、決して楽しい事ばかりではないけれどもみんな努力してるんだなど、この会長職を通して県外の人たちと関わりあえて思った一年でした。学校の勉強は正解がありますが、世の中ではその時が正解だったものが、時が過ぎると間違いになることもあれば、正解が一つではなかったりと商売は本当に難しいものです。

根本は木材産業を通じて社会貢献できることの追求にどれだけ努力できるかなんですが、自分も日々悩みながらその答えを探し続けています。

これからも木青会の一員として、そして木材業界の一経営者として、変化の激しい時代に対応できるように、皆さんと共に努力してまいります。

一年間ありがとうございました。

記事/権藤 敏裕



新婚さんこんにちは



初めまして、若松奈々と申します。昨年12月に中津木材相互市場の若松亮太さんと結婚いたしました。葉山家の一人娘として豊前市で生まれ、大学卒業後東京で就職しておりましたが、コロナ禍の折、迷いながらも退職し現在は父の会社に勤めています。亮太さんとの出会いは、元々両家の親交があり久しぶりに母同士が再会した際、亮太さんのお母様からお話を頂いたのがきっかけでした。今年の4月から中津市内にて二人での新生活を始めたいと思います。まだまだ皆様に教えていただく事も多いと思いますが、今後とも宜しくお願いいたします。

若松 奈々

このたび、日田木青会の皆様のご厚意により、この場をお借りして妻を紹介できますことを、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

若松 亮太

Happy Wedding

一年を振り返って



研修委員長ご挨拶

木青会に参加して2年目で研修委員長の大役を任せられ、最初は不安でいっぱいでした。

夏休み、12月の木と暮らしのフェアで2度の木工教室を開催しました。たくさんの方々に来て頂き、大盛況で終えることが出来ました。

伐採現場の見学会では素材生産者の方々との交流も含め貴重な経験をさせて頂きました。

無事に一年を終える事が出来たのも会長始め会員の皆さんと事務局の協力のお陰です。ありがとうございました。

記事/武内製材所 杉林 敏宣

広報委員長ご挨拶

今年は、木青会通信を3回作成しました。会員数が少ない為二度三度同じ会員の方に記事の執筆をお願いする場面もあり、依頼をするのに少々気が引けたのですが、多忙な中でも快く引き受けて下さり、滞りなく木青会通信を発行する事が出来ました。

また、奉仕活動も3回行いました。この活動も各会員忙しい中スケジュールを合わせて頂き、無事に実行する事が出来ました。

この一年間、会員の皆様ならびに事務局の多大なサポートのお陰で、無事広報活動を終える事が出来ました。

ご協力ありがとうございました。次年度もよろしくお願致します。

記事/一ノ宮 祥二



新入会員を募集しております！お気軽にお問い合わせください！



1月15日(水)

結衣の会との交流会

素材生産者の会である「結衣の会」より林業の現地研修会のお話を頂き、1月15日大鶴の伐採現場へ行って来ました。

今回の研修会の内容は「タワーヤードを活用した架線の架設と集材作業の実演」でした。

午前中に行われた架線の架設作業には参加出来ませんでしたが、午後からの集材作業の見学をしました。大きく深い谷の上に張られた架線を伝い、吊るされた木が運ばれてくる様子は思っていたより迫力がありました。従来の方式に比べるとタワーヤードを使用することにより作業効率は2倍ほどになり、危険で大変だった作業がかなり楽に安全に行われるようになったということでした。

ただ機械が高額なことや、せっかく買った高額な機械も年間2ヶ月程しか稼働させられないという問題点もあり活用方法についてはまだまだ検討していかねければならない部分も多いそうです。しかし伐採した木材を搬出しやすい現場は今後少なく



なり、タワーヤードが必要な現場はどんどん増えていくとのことでした。

夜は交流会が開催され楽しく熱いひとときを過ごしました。普段は間に市場を挟むことにより直接話をする機会が少ない素材生産者と製材所ですが、お互いなくてはならない存在です。活発な意見交換が行われ大いに盛り上がりました。話し合い、理解しあうことによりお互いの発展はもてるんですが、木材業界全体の発展へと繋がっていくのではと期待できる素晴らしい交流会だったと思いますし、今後もこのような機会を定期的に設けていく必要性も感じました。

せっかく繋がったご縁ですので、これで終わらせることのないようにしていかなければならないと思いました。

結衣の会の河津会長をはじめ会員の皆さん今回このような機会を作っていただきありがとうございます。

記事／武内製材所 杉林敏宣

木工教室

12月1日(日) 木と暮らしのフェア

12月1日(日)、パトリア日田で開催された「第15回日田木と暮らしのフェア」にて木工教室を開催致しました。今年も30を超える企業・団体が参加し子供から大人まで幅広い世代の人々が会場を訪れ盛り上がっていました。

昨年は20セット用意したイスキットが午前中で完売してしまつたため、今年は昨年の倍となる40セットの椅子キットを用意しましたが、天候にも恵まれたお陰か14時過ぎには完売し予想を超える参加者の数に驚かされました。

子供だけでなく大人の方の参加もあるので、夏休みの木工教室とは違い幅広い年代の方々に木に触れて頂ける良い機会だと感じました。

喜んで帰って行く参加者の姿を見て今年もやつて良かったと思えました。

記事／武内製材所 杉林敏宣

